

# 大阪ろうあ者成人学校

## 公益社団法人 大阪聴力障害者協会

〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 1-3-59 大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター 3 階  
聴覚障がい者支援センター (手話)

### 助成事業の概要

#### 実施目的

聴力障害者は音声による情報を得ることができないため、現在の話題や話している内容がわからないことが多々あります。一般市民向けに開かれている講座では、手話など目で情報を得られる講座はないに等しいです。そのため、一般市民向けの講座と同じように法律問題や健康、時事問題など身近なテーマを取り上げ、専門家に依頼し、わかりやすく説明してもらい学習する場を設けています。

専門家による講演では大阪府登録手話通訳者による情報保障を行い、会場は公共施設を借用しました。

#### 実施時期

2021 年 9 月から 2022 年 1 月の間に大阪府内の各 4 ブロックでそれぞれ 2 回、合同で 3 回成人学校を開催しました。コロナ禍により中止が 1 回、延期して開催した会場もありました。

また 7 月には全体としての大学学習会を開催し、「演じる権利と観る権利と手話言語の魅力さ」をテーマに、世界で活躍されている舞台俳優を招いて、当たり前の手話言語で当たり前の人間として当たり前の社会を生きていくことの大切さを講演していただきました。

#### 内容

北 摂	10 月 9 日 (土)	14:00 ~ 16:00 豊中市立障害福祉センター 「新しい手話 2021」 (公社) 大阪聴力障害者協会 常任理事 小川 寿一
	12 月 11 日 (土)	14:00 ~ 16:00 高槻市立障がい者福祉センター 「相続とは？終活とは？ - 困らないように準備しよう -」 行政書士 星沢 敏美氏 アシスタント 東松 康子氏
京 阪	11 月 13 日 (土)	14:00 ~ 16:00 四條畷市市民総合センター 「スポーツのあれこれ」 (公社) 大阪聴力障害者協会 理事 千葉 文恵
	1 月 8 日 (土)	14:00 ~ 16:00 交野市ゆうゆうセンター 「相続とは？終活とは？ - 困らないように準備しよう -」 行政書士 星沢 敏美氏 アシスタント 東松 康子氏

河内	10月9日(土)	14:00～16:00 東大阪市立市民多目的センター 「オリンピックの話」 (公社)大阪聴力障害者協会 常任理事 里井 武
	11月13日(土)	14:00～16:00 羽曳野市市民会館 「異文化 ～アメリカと日本～」 (公社)大阪聴力障害者協会 青年部 仁木 千奈津
泉州	11月13日(土)	14:00～16:00 岸和田市立福祉総合センター 「相続とは?終活とは? - 困らないように準備しよう -」 行政書士 星沢 敏美氏 アシスタント 愛沢 貴士氏
	12月11日(土)	10:00～12:00 和泉市コミュニティーセンター 「時事問題～新型コロナウイルス感染症とは～」 (公社)大阪聴力障害者協会 栖川 興道氏
合同	<del>9月25日(土)</del> 中止	10:00～12:00 大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター 「デフスポーツ」 (公社)大阪聴力障害者協会 青年部長 濱田 裕子
	10月30日(土)	10:00～12:00 大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター 「異文化 ～アメリカと日本～」 (公社)大阪聴力障害者協会 青年部 仁木 千奈津氏
	11月27日(土)	10:00～12:00 大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター 「電話リレーサービス」 (公社)大阪聴力障害者協会 常任理事 長宗 政男
	12月25日(土)	14:00～16:00 大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター 「Zoom(ズーム)について」 (公社)大阪聴力障害者協会 青年部 椋本 潤一
全体	7月31日(土)	10:00～12:00 大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター 「演じる権利と観る権利と手話言語の魅力さ」 演出家、舞台俳優 庄崎 隆志氏

## 事業の成果

大阪府在住の聴力障害者へ「大阪ろうあ者成人学校」を広くよびかけるために、当協会発行の会報「ろうあ大阪」に講座を掲載し、大阪府内の各福祉事務所への案内ビラ送付・各市町村の聴力障

害者団体へのビラの配布などを行いました。

聴力障害者の教養を深めるために、「終活」では行政書士を招いて、墓終いや相続、後見人制度等を講演していただきました。遺言書の書き方も体験しました。質問もたくさん出て、予定の時間をオーバーするところもあり、関心が高いことが

伺えました。

手話通訳をつけて講義を聞くことによって普段ではわからなくても聞けないことを、手話言語を通して講師と対話しながら教養を深められることも、この成人学校の特徴です。

また聴力障害者当事者(当会役員)には身近な社会問題(時事問題)を中心に講演していただきました。2021年度は特に新型コロナウイルス感染症についてお話を聞くことができ、またリモート会議が増えていることもあり、Zoomを使った体験もしました。東京オリンピック、パラリンピックにちなんで「デフリンピック」についても学習しました。

当事者による手話言語でのお話はわかりやすく、普段ニュースや新聞ではわからない社会状況が理解できた。との感想をいただきました。

## 成果の広報、公表

毎月1回、各ブロックの担当者が集まり会議を行い、講義当日集めたアンケートをもとに報告・感想・意見など情報交換を行ってきました。

また当協会のブロック単位での会議・本部での会議にも報告し、次の講座の呼びかけも行いました。

当協会が発行している会報「ろうあ大阪」へ掲載のお願いをし、一部のみ掲載していただきました。

成人学校や大学習会の状況の報告も掲載していただき、アピールに力を入れました。

## 今後の展開

1970年から行われている「大阪ろうあ成人学校」は、きこえる人のようにいつでもどこでも情報を得ることが難しい聴力障害者の教養の向上のためにも大切な行事の一つです。

かつては大阪府の委託を受け協会の行事の1つとして開催してきました。大阪府からの委託金が打ち切られた今でも、助成金を確保しながら大阪府に在住する聴力障害者を対象に成人学校を行ってきました。

引き続き音声による情報を得ることができない聴力障害者が、普段の生活上に必要な情報や知識を得ることができるようにしていくためにも、引き続き「大阪ろうあ者成人学校」を開催していく方向で2022年度も計画をすすめてまいります。

特に医療関係や教養関係を中心に専門家に依頼し、手話通訳をつけた講座は欠かせないものであり、身近な場所で開催していくためにブロック単位での講座を検討していきます。